

SAAFホールディングスグループ

住宅の地盤調査でもっとも普及しているSWS試験の貫入ロッドに関わる特許取得

当社グループの株式会社サムシング（本社：東京都江東区、代表取締役社長：小白川 貢、以下「サムシング」）と鉄事業を営む株式会社アステック入江（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長：入江 伸一郎、以下「アステック入江」）は、戸建住宅の地盤調査でもっとも普及しているスクリーウエイト貫入試験（以下「SWS試験」）に用いられる貫入ロッドの曲がり簡単に把握できる「貫入ロッド曲がり治具および治具を用いた貫入ロッドの曲がり測定方法」を開発し特許を取得しましたので、お知らせします。

SWS試験は、1976年にJIS規格（日本工業規格）において、原位置における土の硬軟または締まり具合および土層の構成を判定するための静的貫入抵抗を求める試験方法※です。現在、戸建住宅の地盤調査方法としてもっとも普及されている方法であり、SWS試験に必要な物の一つとして「貫入ロッド」があります。貫入ロッドは鋼材でできており、地中の貫入度合いにより都度、繋ぎ合わせて延長を行います。先端ロッドと延長ロッドとを継ぎ足して延長した貫入ロッドでは、ロッド接続部に起因する曲がりが生じます。

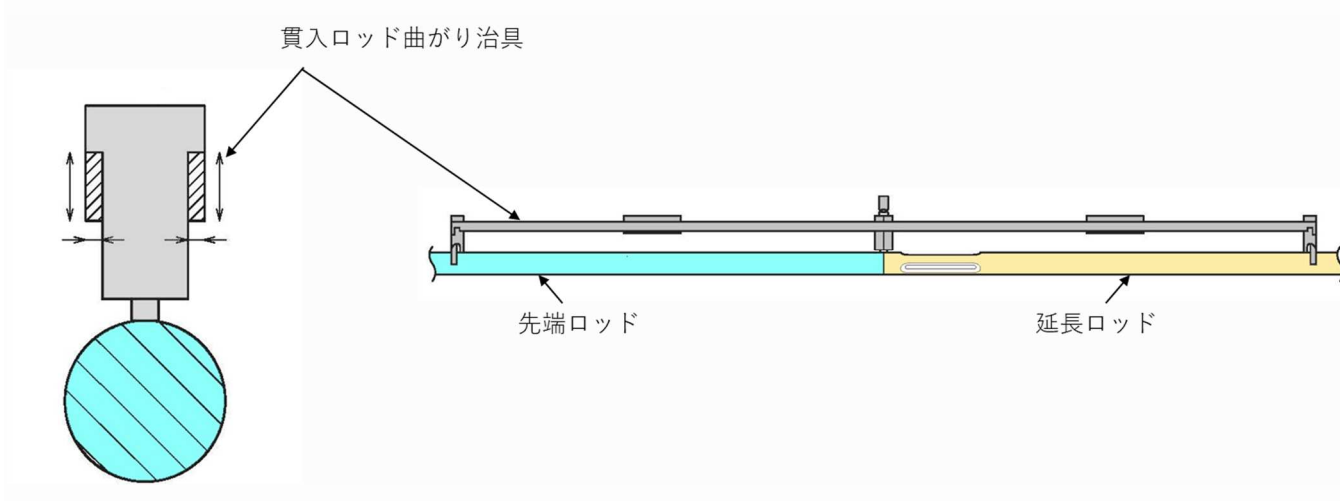
2020年10月のJIS規格改正の際に、ロッドの直線性の確保としてロッドを繋いだ状態での隣り合うロッドの角度のずれに関する規格が設けられました。そこでサムシングおよびアステック入江は、現場で簡易に貫入ロッドの曲がりを検査することを目的に貫入ロッド曲がり治具および測定方法を開発しました。

今回開発した貫入ロッド曲がり治具および2023年7月25日付プレスリリースにて開示しました貫入ロッド（特許番号：第7297217号）は、いずれも規格改正への対応や現場作業負担減等を考慮し開発した経緯があります。当社グループは、当社グループが保有する能力・ノウハウ・経験等を活用し、今後も現場作業の負担軽減や安全性と品質の向上に繋がる技術開発・研究を進めてまいります。

※SWS試験について：詳細はサムシングHPをご参照ください。

https://www.s-thing.co.jp/jiban_chosa/chosa_hoho/houhou_kekka/

【図面】



【本プレスリリースに関する問い合わせ】

SAAFホールディングス株式会社 URL: <https://www.saaf-hd.co.jp/> IR担当: 森島・山本

Tel. 03-6770-9970 Fax. 03-4363-1154

【特許概要】

特許番号 : 第 7579545 号
発明の名称 : 貫入ロッド接続部の曲がり測定システム及び
これを用いた貫入ロッド接続部の曲がり測定方法
特許権者 : 株式会社サムシング



■ 関連プレスリリース

2023年7月25日付「作業員の負担軽減を可能としたSWS試験用貫入ロッドの特許を取得」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/1447/tdnet/2314774/00.pdf>

■ 本リリースに関する問い合わせ

株式会社サムシング (<https://www.s-thing.co.jp/>)
担当: 取締役兼技術本部長 佐藤
MAIL: kouichiro_sato@s-thing.co.jp

【本プレスリリースに関する問い合わせ】

SAAFホールディングス株式会社 URL: <https://www.saaf-hd.co.jp/> IR担当: 森島・山本

Tel. 03-6770-9970 Fax. 03-4363-1154